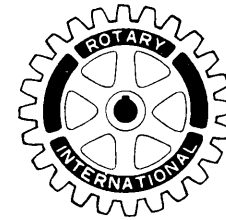


職業奉仕事例集

われわれの小さな体験



1975

名古屋南ロータリークラブ

## もくじ

自社製品を嫁に出す 天野 春一	4
郷土の名誉を担う 安藤 茂	4
安心感 荒木 鶴雄	5
病院の使命感 青地 修	6
わが職業への自負 浅野 健一	6
率先早出 江口 博	7
社は社訓 江口 三次	7
私の好きな言葉 藤掛 一郎	8
心の糧 舟橋 正輝	9
私の信条 長谷 晴男	10
わが社訓 畠山 進	11
人生で何が重要か 服部 栄三	11
大同製鋼(株)社訓 林 達夫	12
Four-way Test 久田 四郎	12
サービス精神 飯田 輝彦	12
助け合いの世の中 池尾信太郎	13
経営者の国際感覚 今井 富夫	14
奉仕・責務・和 石坂 広一	15
人の嫌がる仕事 伊藤 文男	15
社訓に生きる 伊藤弥太郎	16
本当の職業奉仕 岩本 銀次	17
一流の商品への道 粕谷菊次郎	17
両陛下のお伴 川瀬 保	18
さ、やかな職業奉仕 桐山 富治	19
「和而不同」 北畠 直顕	20
地域の繁栄のために 朽木 義一	21
“中電こんにちは運動” 兼松 正幸	21
「年頭社訓」飛躍の年 小林 久峰	22
ある従業員の遺言 春日 良平	22

拡大する職業奉仕 小原 藤吉	23
ピーナツ 糸野 浦雄	24
生産性を高めるとは 松木 進	25
人と職業 野崎 利夫	25
利益は奉仕から 中村 正夫	26
画家としての奉仕の心 小川 博史	27
全員参加 小川 修次	28
業務を通しての啓蒙 大池 秀雄	28
語りかける「お菓子」 大島 清	29
社内報「桜和」 大木 清雄	29
「和」ありてこそその「創造」 榊 明	30
職業への使命感 柴田 清人	30
みんなが受付係 白石 為行	31
惚れてこそその職業奉仕 鈴木 充	32
もう一步の踏みこみを 鈴木 俊雄	32
伴侶としての新聞 鈴木敏三郎	33
化学工業の内側から 錫村 満	34
汗と泥の体験 高田 真吾	34
歯科医のフィロソフィ 高木 一郎	35
労使の和 高村 三郎	36
迷惑をかけぬこと 高木健太郎	36
入社式の挨拶 富田 民三	37
「石」を通じての奉仕 鶴田福一郎	38
喜んでいただける建設 恒川 義郎	39
歓び 渡辺 福雄	40
事業に生かすR精神 渡辺 鈴雄	40
職業奉仕提要 山田市三郎	41
建築家としての職業奉仕 横井 良一	42
読者のニーズ 山口 賢一	43



天野 春一

## 自社製品を嫁に出す

昔から、自社の製品を出荷するのは、子供を嫁にやるようだと言われている。ましてや遠い外国に輸出するのは、本当に嬉しく、また悲しい。

4年ばかり前に、夜行専門の高級寝台列車を、ニュージーランドに輸出したことがある。これは、首府(ウェリントン)とオークランドを結び、午後9時発、翌朝9時着の、個室・シャワー室つきという豪華なステンレス列車で、製作は難しく検査も非常に厳重であったと記憶している。

その試走式に、夫婦で招待されて渡航したときのことである。

前夜祭が行なわれ、静かな国なのに、まるで日本で新幹線が開通したときのような騒ぎであった。わが社から、アフターサービスのために、本間という現業の関係者が1人出張していた。彼は車両納入に伴う広範囲な仕事をテキパキと処理し、「スピーディ本間」というニックネームで尊敬されており、当日も、列車が走りだすと先方の技術者や鉄道関係者が、いろいろ質問するのを見事にさばっていた。

彼を見ていて、これが本当の職業奉仕であると痛感し、私も馴れぬ英語をあやつって、サービスに努めた

ものであった。

食事は夜半を過ぎ、目が覚めたら緑の中であった。

楽しい思い出の一駒である。

(日本車輛製造社長)



安藤 茂

## 郷土の名誉を担う

私が金属家具の業界に入って間もない昭和30年頃、市場開拓の為各地へ出張し始めた時の事でした。商品サンプルや粗末なカタログを持って京都の家具店を訪れ、年輩の社長に名刺を差し出しますと、一瞥して「何んだ、名古屋か！名古屋の物はいらん。」とにべない返事です。経験の乏しい私は一瞬戸惑い理由を尋ねました。訳はこうです。以前名古屋の業社と取引をした事がある。値段が安いのが魅力で飛びついて取引を始め、お客さんから大量の注文を受けていざ次の買付発注をした所ナシのつぶてで止むを得ず別のメーカーから高い物を買って間に合わせ、多大の損失を受けた事があり、名古屋の商人は信用出来ないと云われるのです。私の知らない人がやった事が、後から訪れた私にふりかゝって来るとはとんでもない話だとは思いましたが、考えて見れば同郷の者には或る種の連帯責任というのか、その土地に對

するイメージを大切にすることがあると痛感したものです。

免角、名古屋物は安かろう悪かろうの評価があったようです。これでは残念だ、こゝでは一番、名古屋の名誉にかけても負けてはいられないぞと云う気持になり、当社の製品は他社とは全く違う良質の物であり、誠意をもって取引すると説得し、商品の説明になるほどと納得して頂き、取引を始めて頂き永い友好関係を作る事が出来ました。

その後数年を経ずして、金属家具は名古屋が産地であるとし、全国的に評価を頂くようになったのです。産地になる条件としては、生産量、価格もさる事ながら何よりも品質の評価が第一である事は云うまでもありません。そう云う意味でも、今日名古屋地区が殆どどの産業の生産地としてすばらしく発展して来た事に私なりに誇りを感じております。今後も郷土の名誉をより一層高めてゆく事を念願して仕事を続けて行きたいのです。

(ホウトク社長)



荒木 鶴雄

## 安心感

近頃年のせいか、冬が近づくと身体がすくみ不安になってくる、寒の

入り頃からは特に活動力が純る、今年も大分まいりましたが、それと同時に世相も変って世の中が一体どうなるんだろうという不安の心になって来る、若い頃はシーメンス事件という今の世相と全く同じような事件が起ったが、傍観的な野次馬根性で眺めている内に世の中は別に変ることもなく、日本は繁栄を続けて来た。その当時は新聞でも広く世界の情報を伝える事は少なく、広い範囲の知識を得ることは困難であった。

現在は有線、無線の情報網が世界中に張り廻されており、日本で起っておるような不安な状態が各国に起っている事が報せられている、それを知って心も拡くなったような気がしている、寒さが薄らぐと共に春の草花が咲き始め、今年は例年より少し早く桜の花も咲きかけたので、身体の調子も正常に戻って来たので心も安らかになり、不安の心はなくなって来た。

身体が壮健という事は、色々の不安も吹き飛ばし、自分の道を恐れずに歩いて行ける。私は20年以上、毎日朝起きると顔を洗ってすぐに散歩に出掛けていた、それが昨年末頃からの身体不調のために、朝の散歩を控えていた、3月の中頃から再び散歩慾が出て、天気の良い日には出掛けている。やがて春もたけなわになり、夏に向えば歩く距離も申し得ると楽しみに思っている。

(中部科学技術センター専務理事)



青地 修

## 病院の使命感

病院はもちろん病み患う人達にとって、積極的な医療をうけ、かつその病苦を克服する生活に対して最適の環境を支えられる場である。極端に重症な病人に対して一滴の水、一粒の米が口から入らなくても静脈血管から栄養を与えて回復せしめる幼児なら発育させることすら可能になっているが、殆んど患者さんにとって口から食事を摂ることは基本的なことであり、慢性期に入った患者さんには唯一の大きな楽しみであるはずである。しかし多くの国公立病院の現状を見ると、その労務管理の困難さの故をもって朝食が8時以後昼食が11時前後夕食が4時頃と云った状態で、しかもかなり冷えた状態である。これは簡単に云えば日勤8時間労務の間に三食を配給すればよいと云う残酷な思想である。これに対して私共の名市大病院では朝食は午前7時頃、夕食は午後5時以後に提供し、かつ温かい食事をとどけることを大きな目標課題としたのである。しかしこれは限られた給食職員の数と低い給料、不十分な設備、融通のきかない勤務条件で実施することは大きな困難をとまなうことであつた。しかし私共の熱意は事務職

員はもちろん栄養士も調理業務士のかたがたをふるいたたせたのである。これを実行するには理屈ではなく病院職員として患者さんに奉仕すると云う使命感に訴えねばならなかつたのである。単に命令すればよいとか条例や服務規程だけをふり廻す行政当局には理解しがたい事柄である。しかし患者さんに奉仕すると云う使命感に答えた私どもの病院の給食職員の対応は立派であつた。そして食事の温度も米飯(主食)に於ては50℃を下廻わらないと云う成績をあげることが出来た。もちろん理想にはまだ不十分であり、質には問題があるが、社会に対する責務、自らの職業に対する使命感を実現したささやかな職業奉仕の例として私どもは誇らしく感じている。

(名市大医学部病院々長)



浅野 健一

## わが職業への自負

私は、いつの頃からか、私の職業が社会の役に立っているという実感をいただくようになった。それはロータリー入会後であることだけは確実である。

それまでは、ただ我武者らに、無我夢中で突き進んできた私が、社会との関連において、社会の中の自己

を見詰めるようになったのは、やはりロータリーのおかげといわねばなるまい。

職業を通じて社会へ貢献しているとの自覚は、職業に重みを与え、社会的価値を与えることとなる。社会的価値ある職業は、それなりの品位を持たねばならない。即ち、道義水準を高度に維持しなければならぬ。そんな職業に従事することの喜びと誇りを痛感させられる。厳肅さは身をひきしめるが、そのため萎縮してはならない。喜びと誇りで、精神は高揚し肉体ははずむが、傲慢になることは禁物だ。おのづから節度と調和が大切になってくる。

そのような節度と調和を保ちつゝ、職業奉仕の道を、限りなく前進し続ける心構えを、今あらためてかみしめている。

(公認会計士事務所長)



江口 博

## 率先早出

重役(5名) 午前7時30分  
課長及出先の 午前8時  
所長(15名)

一般社員 午前8時30分

わが社の出勤時間は夏冬を通じてやっております。

7.30~8.30 毎日30分重役会議と

云う程大袈裟なものではありませんが必ず会議をやりませう。従つて特に外には重役会議と云う物を開いた事はありません。

8.00~8.30 課長及出先所長(7名)との連絡情報交換の時間に充ててみます。電話が混んでみないので極めてスムーズに連絡がとれます。

先代から大体朝の早い会社でありましたが私が学徒動員で海軍に入り士官のあり方として受けた教育の中で次の事が非常に印象に残っております。

① 海軍はその戦闘において旗艦が必ず先頭に立つ。航空戦闘亦然り一番機が隊長機である

即一番「エライ奴」が先頭に立つというのがその戦闘の方式であり又伝統である

② 兵に物を教へる場合「まず自らやって見せてそれから兵にも実際にやらせて見ろ、

以上を教訓として重役が先づ一日の先頭に立って仕事を始めるという訳ですが社内の連絡は此の方がうまく行く様に思います。

(東洋燃料社長)



江口 三次

## 社是社訓

ロータリーは職業倫理をとく奉仕

団体であるとロータリーの友や入門書等には書いてありますが、十分な知識もなく入会した私にとってはロータリーの長い歴史の重圧がズッシリと感ぜずにはおれません。

そして目下勉強中でありますれば御要望に従い会社の社是・社訓を書かせて戴きます

記

#### 1. 社 是

- (1) 信 用
- (1) 信 頼
- (1) 信 念

信とは人がものを言うと言うことで、これ程責任のある言葉はありません。

#### 2. 社 訓

##### (1) Ambition (根性)

私たちは負けん気、やる気、根気あり

##### (2) Youth (若さ)

何物をも恐れない行動力と夢があり

##### (3) Frontier Spirit,

(開拓者精神)

未知の世界に敢然と飛びこんで無限の可能性に挑戦する

##### (4) Ability (成果主義)

能力と成果を重んずる

##### (5) Elite (精鋭)

精鋭集団であります

(東海物産社長)



藤掛 一郎

## 私の好きな言葉

### ○私の好きな言葉

数多くのロータリー文献の中で私の最も好きな言葉は、以下の通り。

#### 1. 社会生活での人間の幸福は

他人への思いやりと

助け合いを起点とする

#### 1. 善意が伴わないならば

ロータリーは只の社交クラブだ

職業はただ金儲けに終り

社会奉仕と言うも施しに過ぎず

国際奉仕は外交辞令に止まる

#### 1. 4つのテスト

### ○私の職業奉仕例

昭和30年—35年は戦後経済の高度成長の第1期で、我々鉄鋼販売業も時流に乗って取扱量は年々急増した。特に名古屋地方は昭和33年東海製鉄の建設が本決りとなりそれを契機に東西の鉄鋼問屋が続々と進出し地元業者との競合は熾烈となり各社とも手持ち在庫をふやしたので、在来の保管体形では到底順応出来ず、倉庫内の荷捌き労災は日常化し、昭和35年には市内だけで6件の死亡事故が発生した。

そのため同業組合の組合長の私は昭和36年4月労基署より倉庫管理業務の改善について酷しい代表勧告を受けた。

同業各社の数次の善後策集会で適地への移転意欲の台頭を機に私は同業の相関性を重視して各社の独走点在化の愚を避け集団移転の有利性を痛感提唱、20数社の賛同を得て各地に集団移転先を物色、当時名古屋市が港区内に造成中の土地区画整理事業の保留地に数万坪の用地を求めたが、市計画局は大企業製造工業の進出を優先主張し中小流通企業には一顧だにできなかったのを、名商議所や労基署の副申と市経済局の選考推薦を得て産業道路に面した最適地の買約締結に漕ぎつけ、更に不足土地を名古屋市開発公社に斡旋を依頼して隣接地主より買増して所要面積を確保、農地転用の手続きと団地内市道の位置変更拡幅を出願したりして、建設着工迄に2年有余の歳月が流れた。

この時点迄に進出希望社の中に同調拒否社が数社あったが、協組を結成して土地取得、倉庫建設の資金面でも各社の体質と資力に適応した資金導入と長期返済の道を拓き、中途挫折例の多い同業団地を免にも角にも完成するのに実に前後7年超私の奉仕をしたのであった。

(フジカケ鉄鋼社長)



舟橋 正輝

## 心の糧

春めいた柔らかな日射しが窓を通して室にあふれる早朝のひとつ、各工場から届いた日報に目を通しながら、何時も同じ机の上にある1通の書状を手にして、心の安らぎを味わっています。「伊勢湾台風より早くも10数年、その節は本当にお世話になりました…」、という書き出しで始っている比の手紙は住所も名前もわからないお客様から頂いた書状であり、読み返すたびに、仕事に対する反省とはげましを感じさせる心の糧として、今尚私の宝として大切に保管しています。手紙は更に次の様に綴られています。「こんなことを申し上げてもおわかりにならないだろうと思います。私達は岡崎に住居している者ですが、当時、主人は、名古屋へ通勤しておりました。私達は、あの台風によって家はバラバラになり雨にたたかれ散々な目に会いました。例にもれず台風後の物価上昇は、我々サラリーマンには手も足も出ない様もありさまでした。そんな時、親子5人でうす暗いローソクの火を囲み砂をかむような思いでおりました。ある夕方主人が帰宅して、『栄養のある良いものが手に入ったよ、それも原価でな』と申しながら、

パンと一諸にバターが1本——。子供達は歓声をあげて喜びました（以下略）。3枚の便箋にビッシリ書き綴られたこの手紙は、名駅地下街の当社直売店でパンを求められたお客様の気持ちが綴られているのです。苦しい時こそ助け合うべきであるという当然の行為に対し、しかも10数年経って、この様に喜んで下さったお客様の心に接し深い喜びとパン製造という職業に携る幸せを今更乍ら味わったものでした。言うまでもなく商売とは、品物と代価の交換であるという単純な行為であるものの、その中にふれる人の気持ちの広く、大きな生活との関り合いから社会性が生まれてくるものでしょう。メーカーとユーザーの立場の違いがあっても、その両者に共通なものは、満足感であり、それを支えるお互いの理解と真心のふれ合いであると思います。私達は少しでも価値ある良品を提供し、お客様はより豊かな生活を楽しむ為に価値あるものを求めておられます。こうした気持を日常の商行為に生かしてこそ、真の「職業奉仕」が生まれしあわせな心のふれ合いが生まれます。一片のパンが綴る人間模様の大切さを思う時、私は職務の重大な責務を感じ、職業に誇りと喜びを感じています。この手紙を何時も心の糧として……。

（フジパン社長）



長谷 晴男

## 私の信条

◇健全なる精神は健全なる身体に宿る

奉仕の精神を培い、世のため人のために尽さんとするには、自己が健康であるということが前提である。日頃の心身の鍛練と摂生とが、均衡を保っているときにこそ、健康を保持することができる。

◇稽古照今

古を稽え、今に照らす。凡そ学問・スポーツ・芸能等の研修を「稽古」と称するが、稽古とは、古を考えることである。如何なる道についても、夫々の歴史があるから、先ずこれを考究しつつ現況に照らし、しかる後に将来の在り方を工夫する。過去、現在、未来は一連のものであって、昔は昔、今は今という考え方では、道の成就も繁栄も望まれない。

◇初心貫徹

我々人間は、生涯をかけて成し遂げたいと望むことが一つはある。しかし往々挫折する。そこで平素「初心忘るべからず」という格言を遵守し、克己心の涵養につとめることが大切であり、やがてこれが成功につながってゆくものである。（熱田神宮権宮司）



島山 進

## わが社訓

愛知日野自動車(株)社訓

◇我々は責任を果し、誠実に働こう

◇我々は根性を養い、全力で働こう

◇我々は健康を守り、明朗に働こう

（愛知日野自動車専務）



服部 栄三

## 人生で何が重要か

“与助見習ふべし。”という言葉が弊社では社訓のように言伝えられ、古くから従業員の大先輩として、又時に商売用語として、或は取引上の符丁として使われてきました。昔の言葉でいう“番頭、与助氏は明治6年死亡するまで生涯、私の曾祖父まで3代の主人に仕へ、仕事のために終生独身で過し仕事一途の人生を送り、家業に第2の黄金時代を築いた大恩人だったそうです。

仕事については全権を持ち、主人の口出しを許さず、業界にも数々の功績を残した事もあって幕公より300石を賜り表彰されました。私の家では今も与助氏の墓は歴代当主の筆頭にあり、恐らく死後毎日の勤行は絶

した事はないと思います。

一方、私の家に伝わる子供への言葉は別でした。父は祖父から言伝えられた言葉として私に対しては「経営者となるあなたにとって大切な事は仕事をする事ではない。仕事は任せればよい。何をする事が人生に於て重要かを見付け出して欲しい」という意味の事をつねづね申しておりました。今になって思いますに、経営者となるべき私にとって最も大切な事は、仕事よりも先づ人格形成による社会奉仕だと祖先は言いたかったのだと存じます。

長く家系と家業を繁栄して守り続けるには職業奉仕と社会奉仕を同時にすれば理想的ですが、実は非常に難しいので経営者と従業員が分業して行わなければならない事を先祖が身をもって体験し、教唆してくれたものと思います。

私は現在当ロータリクラブの幹事の大役を承っておりますが、後、数回の例会をもって任期を終ろうとしています。精一杯ロータリー活動に努力して、今になってしみじみと多くの教訓を得た事を喜んでおります。

生活のなかから、行動のなかから、ささやかでも社会に貢献が出来るような識見を持ち、事業面でも方向を見失わないように、ロータリーの綱領をかみしめていきたいと考えております。（服部製材社長）



林 達夫

## 大同製鋼(株)社訓

大同3つのことば

1. 大同マンたる誇りと自信
2. 広い視野でのよりよい仕事
3. いつも身近の作業改善

其他

改善とコスト低減、限度なし  
会社とともに良くなる

(大同製鋼相談役)



久田 四郎

## Four-way Test

医学の目標が広くは人類の幸福に、身近には病人の苦しみを除くことにあると考えますので、医学の研究教育は長期展望の中で、このことを常に指標としなければなりません。また、研究成果を教育に反映させ、最新の知識を加えた教育を常に行うように心掛けねばならないので、言行の基準である four-way test は、そのいずれの項目も適切な指針となります。

しかしさらに具体的な見解を加えますと、学問のための真実探求には、向上発展を期する謙虚さが必須であ

り、また教育の実践には、心と言行が一致することが前提です。そして医療の知識と技術には正確さが要求されますので、医師養成の履習評価は厳格に行うべきものだと考えます。経済意識に傾斜せず、病人中心の医療を行う温かい人間味のある医師は病気のみならず、病人の精神や、その家族内と社会的環境までも配慮する医師だと考えます。以上は、専門教育の中で「向学心に燃える良医の育成」を職務とする私が、four-way testによって実行し念願としていることです。

(名古屋市立大学医学部教授)



飯田 輝彦

## サービス精神

1. サービス精神の徹底
2. 誠実勤勉な服務
3. 相互の信頼と団結
4. 健康にして明朗な日常

上に掲げたのが、当社の社是です。当社は職業分類上、「工業薬品の配布」となっていますが、その他「石油製品販売」「高圧ガス及び溶断器具」関係も取扱っているのです、末端のお客様と直接むすびついています。

今日、商売に携わる人はもちろん、すべての人が、サービス精神にこと欠き、自己の主張を押し通す事が多

い様に思います。サービス精神のない社会は、ぎすぎすした住みづらいものとなるのではないのでしょうか。

一口にサービスと云っても、職業的には色々あります。

笑顔をもっての応対、礼儀ある態度のサービス、正確な仕事をする事による信頼感等、私達が地域社会に貢献して行く為には、こう云ったサービス精神を基本にもち行動する事が一番大切であると思います。

その意味で、サービス精神の徹底を第一に強調しているわけです。

第二項以下の誠実勤勉、相互の信頼と団結、又健康にして明朗な日常生活等は、第一項のサービス精神の徹底を期する為の条件とも云える項目です。どの一項でも欠ければ、満足なサービスは出来ないと考えます。

私達は、ロータリーで示される奉仕の精神と同じく、社是に掲げる理想に少しでも近づく様努力しております。(愛産商事常務)



池尾信太郎

## 助け合いの世の中

私にとって就職するよろこび、それは昭和17年、大戦の最中であつた。当時国内は軍需に追われ、ネコの手も借りたい時代で、就職には心配なかつた。やがて兵役がまっている。

何れ死ぬ身であれば、自由にふるまへそうな仕事を……と私は新聞記者の道を選んだ。事件があるたびに飛び出してゆく、いわゆる社会部の遊撃と呼ばれる職場である。書いた記事がすぐ紙面に出る、このよろこびは今でも忘れることのできない感激であつた。「得意の絶頂」とは当時のわが姿であつたろう。そんな時ある著名人の名前を誤記したことがあつた。気がついたときはすでに校正部の手を離れ輪転機は轟音をあげていた。しかし刷り上つた朝刊には正しい名前に訂正されているではないか。「新米の君らに完全な記事が書けると思っていないよ。だからデスクや整理、校正などが赤筆を握ってまちがいを直しているんだ」先輩のこの言葉に私は世の中のしくみを悟つた思いであつた。考えてみれば、私の仕事のかげには何人かの先輩、同僚、組織のバックアップがあつたのである。記事を取材するにも、同伴するカメラマン、自動車の運転手、現地の人々などすべての協力があつてこそ可能である。新聞社だけではない。社会のしくみを見ても自分が生きてゆくためには家庭、職場、地域社会すべてこれらの人々の助け合いの上になりたつていたのである。一人の人間が成人するまでは直接、間接何百万人の人々の厄介になるそうである。仕事について以来30年を過ぎて齢をとればとるほど、「人のおかげで生きてきた、これに感謝の

念を忘れてはならない」この感を深くしているのである。

(中部日本放送常務)



今井 富夫

## 経営者の国際感覚

戦前に比べると戦後の我国の経済的な地位は全世界の国々の中で急速にクローズアップして来た。韓国、台湾始めタイ、マレーシア等東南アジア方面の発展途上の国々に対して我国の経済力は圧倒的に強くそのリーダーシップを取っていて、戦前の大東亜共栄圏の盟主とまでは行かないまでもほぼそれに近い所までエスカレートしており中進国オーストラリア、先進国アメリカ始めヨーロッパの各国に対しても輸出、輸入量の多い事及び国際金融の調達面で足跡の行き届かない所はない現況である。加えて石油ショックによる世界資金の偏在したオイルグラの中心地アラブ諸国に迄我国のプラント輸出の手が及び外貨獲得に寄与しつつある。こうした経済力の進歩に歩調を合せてか国民にセンセーションを巻起したロッキード社に対するスキャンダル事件迄も世界を又にかけている多国籍企業に対するアメリカ国内の批判から始まった国際的な事件であり他面では最近のヒット映画グレート

ハンテングもエマニエル夫人も外国映画が我国青年層の性的又は好奇心のニーズのくすぐりであり、パリ—哀愁では日本の俳優がパリと金沢を背景とする大ロマンであってこれに登場する日本人俳優が皆フランス原語を使ってプレーしている。

この様に経済から始まって国際的な潮の流れは国民の嗜好始め総ての日常生活の国際化を進めつつある。こうした流れの中で日本の企業が独り国内に閉籠って日を過すことは許されない。経済問題のみでなく全て人間関係でもその流れが通じ合ってきている。以前からロータリー国際委員によるバングラディッシュ始め多くの恵まれない国々に対する慈愛の心の寄附運動は少しでも世界各国の生活の平準化運動に寄与されることと思われる。

私の学生時代の恩師赤松要教授は生前から企業の異質化から同質化を説いておられました。アダムスミスの富国論の中心世界は夫々その特質を發揮し分業論に徹すべきであると云う理論を展開していたのに対して先生はヘーゲル弁証法を主軸にして必ず後発国は先進国に追付き追抜いて世界経済は異質化から同質化へ進む理論を我々に叩き込まれた。先生が死去されて一週忌を経過して今にして思うと、アラブの石油問題を前後して資源の南北問題がうつつぼつとして起り、一方永い間の繁栄の街ロンドンの最近の衰微状況とかアメリ

カでは奴隷として連れて来た黒人に次第に押され気味であり、東南アジア諸国のエネルギーには我国の軽工業も窮地に追込まれている。こうした発展途上国の進出のことを考えると今更ながら見えないこの力の根強さを感じている次第である。

(公認会計士)



石阪 広一

## 奉仕・責務・和

わたくしの会社は、輸入木材の荷主代行として、原木を船から卸す船内、沿岸荷役作業から植物検疫、通関手続きを済ませて、これらの原木を保管する倉庫業まで一貫した荷役体制を運営しているが、年間百数十万立方米にのぼる量を取扱う過程において、危険作業が伴うので作業事故の防止と膨大な金額になる原木が内材として、自由に市場に出廻るようにするためには、迅速適確な運営処理が要求されているので、下のような社是を定めて社内に徹底するようにしている。

◎奉仕精神の具現

◎責務の完遂

◎和

(名古屋港木材社長)



伊藤 文男

## 人の嫌がる仕事

ロータリーの4大奉仕の中でも一番重要なものは職業奉仕だと思う。さて職業奉仕って何だろうと考えると難しくなってくる。

ロータリーに入会した当時は、さっぱり解らない。最近になってようやくとに角、自らの職業に誇りを持って、お客様に喜ばれる品物を造る事だと解ってきた。自分の職業は製造業だが亡き父は、人の嫌がる難しい仕事に特に興味を抱き誰もできないければ自分がやると言って実行してきた人だった。余り利益につながらず創業50有余年でも現在の様な小企業だが、然し親爺のやって来た事が一つの職業奉仕であり結果的には、現在小企業ではあるけれど日産製造という会社の信用に大いに役立っているのである。

泣き事を云うのではないが製造業の昔は名字帯刀を許され「御鋳物師」という勅許をいただいた職業だが現在は縁の下の力持ちで、全ゆる機械の基になる重要な産業であるにも拘らず恵まれていない。

しかし、自分の好きな歌

「ふまれても根強く忍べ道草のやがて花咲く春の来るらん」

を、胸に秘めて四苦八苦して職業奉



仕に励む今日此の頃である。  
(日産鑄造社長)



伊藤 弥太郎

## 社訓に生きる

わが社の社訓に生きることを社会奉仕のすべてと信じております。

### 社 訓

感謝 神を敬うことは祖先崇拜の真実心であります。

祖先を偲んで今日の自身を思い、先人に対して常に感謝尊敬の念を抱くことです。即ち、社会の一員として社会への奉仕に心掛けねばなりません。

誠 実 一念巖をも通す例えのように、誠心誠意ことに当れば、いかなる難事も解決し万人が誠実に心打たれます。即ち、真心をこめて総てことに当らなければなりません。

邁 進 時は流れ、再び訪れないことに思いを至し、日々の努力を積み重ね、己の職業を天職と心得て、一路邁進しましょう。即ち、充実した一日を喜び、満足心を得ることであります。

愛 情 森羅万象すべて愛情を持って結ばれております。愛情は和親の源泉であり、和親協力なくして社業の発展は望み得られません。即ち、優秀なる人材も、願望成就も、愛情より生まれます。

親 切 親切心は、太陽の如くすべての人々の心を暖くするがそれには、まず自身ができることを知る心を養わねばなりません。即ち、慈善心を以って陰徳を積む心掛けが大切です。

明 朗 朗らかにして明るい性格は人々に好感を与え、職場、家庭を明るくしますが、それにはまず、健康と教養がなければなりません。即ち、知性を磨かなければ真の明朗さは生まれません。貴賤老若の別なく互敬の精神は和親の源泉であります。社会の平和、家庭の和、企業の発展はこれなくしては望めません。即ち、高慢自尊の心を慎み、彼我相互の人格を尊ばねばなりません。

(伊藤伊社長)



岩本 銀次

## 本当の職業奉仕

職業奉仕とは何が奉仕であるかと云う事は今更申す迄もありません、日常の小さな出来事ではありますが奉仕と云う事の悪い面と善い面の体験を記してみます。

その悪い例の一つ、昨今の事です家の改造を一ヶ月の予定を以て暮迄に完成するよう計画をし工事に取りかかりましたがあるメーターを移動せねばならない事になり指定のメーター工事店に依頼した処何日には行くからとの確約をとり数人の作業関係者を待機させて待つておりましたがその日には何の連絡もなく来てくれなかったのです。又翌日も連絡し来て来るようになっておりましたが、これも前日同様来てくれませんでした。又その翌日も同じ事の繰返し、やっと4日目に来てくれましてメーターの移動が出来ました。それから工事作業に取りかかる事が出来ましたが(メーターは指定工事店以外こちらの工事者の自由に移動する事が出来ぬ事になっているそうです)その3日間の工事の遅延はもとより数人の作業員の費やした時間と経費は大きな負担となり、迷惑を受けた事がありました。職業奉仕にはまだまだ遠い感じが致しました。

奉仕の良い例の一つ、私の処へある自動車の使用者から丁重なる礼状がまいりました。文面によるとその方が雨降りの日に所用の為自動車を運転して田舎道を走っている時の事です。自動車が故障を起し動かなくなりましたので、いろいろ調べてもその原因が判らず、ほとんど困っている処へ、一人の若い方が近づき尋ねられたので、その由を話しました。処、雨がよく降りつゞく中を濡れながら、ワイシャツもズボンも油で汚れて黒くなるにもかゝらず、故障を発見し、修理してくれましたので、自動車が動くようになりました。その時程嬉しかった事はありません。どちらのどなたさまですかと尋ねた処、△△会社の者であると言われてご自身の名前は言われずに去られました。どうぞ貴社に於かれて調べられ御礼を申してくれとの事でした。私もこの礼状を見てこれが本当の職業奉仕の一つではないかと思ったのです。

(マツダオート名古屋社長)



粕谷 菊次郎

## 一流の商品への道

塗料は用途により建築用・船舶用・車両用・金属用・木工用・家庭用等々と数多くの品種があります。多品

種を造っているのを総合メーカー、専門の品種を造っているのを専門メーカーと吾々は分類いたしております。

名古屋塗料は車両用・金属・木工製品用塗料の専門メーカーで「ナトコ」の商標で親しまれています。品種を限定して生産しているのは我が社は中小企業でありますので、多くの品種に手を出せば何かにつけて行き届きませんので専門馬鹿に徹しているに過ぎません。私は青年時代ふとした縁で塗料のセールスマンとなり、間もなく塗料商の自営を始め今日まで45年間を塗料の匂いの中で過してまいりました。

塗料業界入りをして愛知県が大消費地であるのかかわらず塗料の生産がなく、東京・大阪からの移入に頼る矛盾を感じました。塗料の生産工場が生れないには原料の入手が不便であるとか、化学技術を教える学校がないために技術者が育たず、当地では化学工業が育ち難いことも判ってまいりました。

戦前には解決できなかったこのような環境も、日本の敗戦と共に変化を来し、戦後の物資不足時代に始った配給統制々度は、当地でも東・西と同じ条件で原料の入手が可能となり、これを機会に私は塗料の生産に踏みきったのであります。

爾來28年が経過し、今日では年間2万トンの塗料を生産し、販路も国内

一円に拡り、塗料の製造業は私の天職であると感謝し日常を送っています。

当社の社是「一流の商品・一流の人物・社会に奉仕」は粗悪な塗料は造らないように又塗料造りに従事する者は人物的にも一流人の心構えを忘れてはならないと戒めたものです社会に奉仕は金儲けの奴隷であってはならないと言う意を籠めておるのであります。

(名古屋塗料社長)



川瀬 保

## 両陛下のお伴

—あるスチュワデスの話—

11年前、私はプログラム委員長だったが、丁度その頃羽田や富士山上空等で重大航空事故が続発し、そのショックで空のお客が激減した。これはチャンスだ、と思い私は日航本社へ電話し、スチュワデス監督のY嬢を出張で名古屋へよこすよう依頼した。Y嬢はスチュワデスの最上席者で美貌で知られていた。そのような人がわざわざ名古屋へ来てくれて、(職業とは申しながら)日々空を飛んでいる話をしたら、ロータリオンたちはきっと再び空の旅へとあこがれるようになるのではないかと。日航さんとしてはP.R.のチャンス

ではないか…と話したところ、うまく話がまとまって指定の水曜日に、しかもただ30分のスピーチのために汽車賃向う持ちで彼女はやって来たのである。

食事をしながら「私、何を話したらよいのでしょうか」と落ちつかぬ彼女に、ただ私の質問に答えればよいから…と落ちつかせる。そしてまずY嬢の略歴を話した上で、(問)あなたが今までに一番えらい人のお伴をしたのは誰ですか。(答)(一呼吸のみ込んだ上で)それは恐れ多くも、天皇、皇后両陛下でございます。(問)それはどこへお出ましの時に?

(答)岡山の池田家へ嫁がれたお姫宮様をお見舞の旅でございました。

(問)機内では両陛下は並んでお坐りですか。(答)イエエ 飛行機が動き出すまでは窓際に前後にお坐りで、動き出すと皇后様が天皇様の横へお移りになります。(問)それから何をなさいましたか。(答)富士山が近づきますと、天皇様が「絵をかかなくていいの?」と仰言いました。

(中略)……(問)その次にえらい方のお伴は?(答)恐れ多くも皇太子様御夫妻で…。(問)それはどちらへ?(答)フィリッピンでございます。(中略)……

このようにして問答を重ねるうちに、30分はアツと言う間にすぎた。会場の後ろの方にいた人たちは、いつの間にやら前の方に集まって来られた。中坐して帰る人など、むろん

一人もなかった。

職業奉仕も色々だが、Y嬢の場合は全くすばらしいと思った。同時にプログラム委員長の役割もまた楽しい哉、とひとりほくそえんだことである。

(大同興業会長)



桐山 富治

## さ、やかな職業奉仕

私は、ロータリー・クラブに入会してから既に14年になり、その間、いろいろの奉仕部門を経験しましたが、「職業奉仕」ほど難しいものはないと思いました。職業を通じて社会に奉仕することだといわれますが、それぞれの職業自体が、社会に害悪を流すものでない限り、社会生活に役立っているものであるから、われわれが真面目に職業に従事しておれば、職業奉仕をしているのではないかともいえると思います。果して、そんな簡単なことでよいものかとの疑問もありましょう。かくして「職業奉仕」はむづかしいものだとして、クラブではいろいろの職業人を表彰したり、職場の永年勤続者に感謝状を贈呈したりしているのが、通例の様です。また、職場見学などとして、その仕事振りを理解することによって、感謝の念をあらわしたこ

ともありました。これらは、いずれも間違っていないが、何か物足りなくて、今回舟橋委員長が原稿を募集せられたのではないかと思います。しかし、私には「職業奉仕」について語るほどの識見もないので、私自らこれも職業奉仕の実践ではないかと思っただけで実行していることを述べて、ご参考にしたいと思います。

私は、昭和20年末に、名古屋木材(株)が設立されて、取締役役に就任して以来、今日まで同社の発展に、全力投球して参りました。殊に、37年社長就任後は、会社以外に業界団体の役員として、業界発展にも、いさゝか寄与したと自負しておりますが、これまでは、どなたも経験されていること、と思います。私は奇妙な縁で、二つも木材会館をつくり、その責任者として奉仕しているのだと誇りに思っています。即ち、41年末に、焼失した会館を復興し、各種の業界団体を入れる器をつくるため、その会館会社の社長に就任してから、今日まで無報酬で、奉仕してきましたが、今では入居している団体からも安い家賃で喜ばれ、会社自体もやっとな割当継続ができる体制もあってゆくことができるようになりました。

今度は、西部臨海工業地帯へ木材業者が進出したのに、「タバコ屋」も「うどん屋」もない砂漠のオアシスとして会館をつくってほしいとい

う要望を担って、去年から建設にかけ、この4月8日に完成をさせました。この協同組合の理事長をいたしておりますので、これも職業奉仕の一つだと心得て、目下全力を傾けております。しかし、本職の名古屋木材の社長は無論、疎かにできません。殊に、この不景気では、これだけでも大変です。経営者は、株主、従業員、取引先等に対し、大きな責任があるので、会社が挫折したりしたら、職業奉仕にならぬわけで、その意味で、本業を完全に遂行しつつ、更に奉仕するのであれば職業奉仕ではないかと自負しています。勿論、その機会を与えていただいた幸せを心から喜んでおり、更に「奉仕の理想」を追求したいと念じております。  
(名古屋木材社長)



北島 道頭

## 「和 而 不 同」

凡そ会社の事業を経営するにあたっては、その社会的使命感を堅持するとともに、事業遂行の中心となる諸般の人間関係を正常にし時代の進歩に遅れをとらないことが大切である。この基本的な経営理念を簡潔な用語をもって浮き彫りにし、全員に対する心のよりどころとするため、ここに社是として「和而不同」を用

いることとする。

和して同ぜずという言葉は、論語の中の「子曰君子和而不同，小人同而不和」の上段の訓をとったものであるが、その意味は「うちとけてもへつらはぬ」と漢和辞典に解かれている通り、「和」と「同ぜず」が調和して君子（社会人事業者としての資格を具えた立派な人）となることを示した、古今東西を通じて愛唱される人生哲理となじみ深い言葉である。もともと、わが社の永い歴史の中で創業の大恩人である金原明善をはじめ、初代社長以来、一貫して提唱されて来た言葉は「和」であって、これに不同（同ぜず）を加えたのは、個人の人格を尊重するとともに、尊重されるに値いするよう常に自己の啓発に努め、進歩を求めてやまない個人となって貰い、その個人の自主性を確立し、その集団をもって組織された事業体（会社）に盛り上げ、しかもその盛上げの紐帯をなす中心を、和に望み度いが故である。由来わが社においてこのことは言わず語らずの裡に、育まれ伝承されてきた極めて自然の気持であったが、これを覚え易く語るに樂なごく簡明な字句として、広く一般に示し、お互に常時この気持をもって社業の発展に邁進せんとするものであってそれが即ち、われわれお互の幸福ともなり、生き甲斐のある人生を送り得る幸わせの道に通ずることを銘記されたい。  
(天龍木材専務)



朽木 義一

## 地域の繁栄のために

私の所属している職場である名古屋相互銀行の社是、行訓をご参考までにお知らせします。

社是

地域社会の繁栄に奉仕する  
これが銀行の発展と行員の幸福を併せもたらすものである。

行訓

1. よいサービス  
誠意があふれ、行きとどいた、スピーディなサービス
2. よい人  
人を高め、人を厚くし、明るい職場をつくる
3. よい経営  
健全で、創意に富んだ、全員参加の経営  
(名古屋相互銀行常務)



兼松 正幸

## 「中電こんにちは運動」

中部電力では、毎年春秋の2回、「中電こんにちは運動」の期間を設け、全従業員が参加して奉仕活動を中心に創意工夫をこらした多彩な諸

行事をくりひろげている。

当南営業所においても昨年の「こんにちは運動」には①重要文化財、公共福祉施設および1人暮らし老人宅の配線診断②交通信号灯の清掃奉仕、送電線下を地元の子供たちに開放している「中電なかよし遊園地」、熱田神宮などの清掃奉仕活動③児童と老人の養護施設の慰問④戦災をまぬがれた住宅密集地を対象に電気安全のための屋内配線診断と改修電気工事のあっせん⑤事業場から遠隔地にある住宅団地を対象とした総合移動営業所の開設⑥慈善バザー「不用品市」の開催による売上げ金の中部善意銀行への預託等、各種の行事を展開した。

なかでも、天白大根荘自治会のご協力を得て「団地のみなさんと中電を結ぶ集い」を開催したが、当日は好天に恵まれた日曜日で、「母と子の電気教室」、「よい子の写生大会」、「特殊作業車両の公開と試乗会」のほか電気器具の修理を含めた「総合移動営業所」を開設するなど、今でも記憶に残る団地のみなさんとの楽しい1日であった。

今後とも社会生活にかかせない貴重な電気を、地域の皆様にお届けするという大切な責任を常に念頭において、営業所全員が精一杯努力してまいりたいと思っております。

(中部電力南営業所所長)



小林 久峰

## 「年頭社訓」飛躍の年

地球は四分の一世紀の間膨張し続けました。最近では急に慌しく収縮し始めています。無限と有限のアンバランスです。資源ナショナリズムの台頭です。

皆さん静かに見守ってやりましょう。新しい産業構造の誕生のために無限と有限のバランスの上に、健やかな生産の担い手として。

昭和51年元旦

(敷島チップトン社長)



春日 良平

## ある従業員の遺言

今から10年前に、1人の男子従業員が亡くなった前社長のところへ便箋に次のような事を書いて従業員食堂の壁に大きく張り出してくれと云って来ました。

1. 礼儀を正しくしよう

1. お客様には親切にしよう

1. いつも清潔にしよう

1. 従業員は仲よくしよう

1. 人の悪口はやめよう

社長は従業員からこの事を申し出

て来たので、早速張り出すように命じました。ところが、これを書く事になった元小学校の教師をしていた従業員が、これではあまり単純すぎるからと云って次のように書き改めました。

1. 正しい礼儀

正しい礼儀は相手に好感を与えるばかりでなく自己の人格を高める。

1. 懇切丁寧

お客様には特に丁寧に應對して決して不快の念を与えぬよう。

1. 清潔整頓

自分の持場、職場は清潔を旨とし、寸時も乱雑にしないこと。

1. 融和協力

従業員同志は互に意志を通じ合い協力して事に当るよう。

1. 不言実行

他人の悪口や不平不満は厳にこれを慎むこと。

これが社訓となって今に残っております。格調もあまり高くなく、ユニークでもない社訓ではありますがこの社訓を従業員が作ったということに意味があると思っております。物事に深い理解を示し、他人には寛大であること、つまり人をあまり束縛せず、相手に対する思いやりが必要ではないかと思ひ、この従業員の作った社訓は今でも従業員食堂の壁に張り出されております。

これからもこの社訓を大切にしていこうと思っております。

(かすが荘代表取締役)



小原 藤吉

## 拡大する職業奉仕

人はこの世に生を享け、成長して、何等かの職業につき生活する。しかし単に生きているだけでは、むなしきものであり、人として生き甲斐を求めるのは必然である。誰しも職業人として生活のスタートを切れば、手近い物心両面の欲望を満たすために努力し、やがて経過する時と共に視野も広くなり、個人の集団が社会であり、個人は社会の成員の一人であるという認識が深まり、社会奉仕をすることは、即、自身へ奉仕することに係わることを悟る、ことになる。

思うにロータリアンとして、社会奉仕の方法では、自己の職業を通じて奉仕することが最も効果があり、最善の道と考える。これはロータリー発足の理念であり、職業を通じての奉仕は人として当然なことと心得べきである。

職業を通じての奉仕は、雇主、使用者の関係から始まり、更に所属する各職業団体にまで拡大推進されなくてはならない。前者は努力次第で実効はあがるが、後者は種々の困難

を伴うものである。そこで、何よりも、より多くの、ロータリークラブの職業連絡会議をたびたび開催してそれぞれが実施している効果的な情報を交換し合い、より良い方法を研究する等、根気よく経続して行う努力をしなければ実効は挙がらないと思われる。

私は社内で、4つの、テスト、に則り、不言実行している。特にわが社は、中部電力の水力発電所、送電線、変電所の保修其他諸工事施工の唯一の関係会社として設立され、中部電力が、公益事業として、責任を負う、電力安定供給の一翼を担っていることから、全社員は勿論系列業者に対して、日常業務を通じて、地域社会に奉仕する精神を植えつけ行動するようにしている。

然し所属する職業団体に対しての推進には甚だ苦慮しているのが実情である。真の職業奉仕への道は険しく遠いものである。

(中電工事(株)社長)



糸野 浦雄

## ピーナツ

我々日本人は、古来体質的に義理人情のしがらみに作用され易く、かたて加えてこん日のきびしい日常生活にあっては、とかくピーナツ的金

品は必要悪だと見過され勝ちであります。端的な例が、会社内で平社員が自分の上司に、或は教育ママが自分の子の担任の先生に、毎年盆暮れのツケ届けするという風習を当り前だとされています。

私どものさ、やかな経験でも、患者の中には自分だけ特別に親切丁寧に診てもらいたいためか、或は自分の自由な時間に即刻治療してもらいたいためか、ピーナツらしきものを食べさせようとする人があります。

患者はどこ迄も平等であり、公平に接すべきは、医者として当然であり、こういう人は私にとって却って迷惑至極であります。私はこういう事をする人こそ蔭に廻って医者を悪しざまに批判する人だと心にきびしく戒めております。

私はたとい兄弟親戚でも絶対受診の順序は守ってもらいます。かってこんな事がありました。何年前でしたか忘れてましたが、ある日の午後4時頃、当時プロ野球の、〇〇〇〇のS監督から電話で「今夜中日球場でナイターがあるが、歯が痛くてたまらない。特別料金を支払うから、これから直ぐ診てもらえないか」という事でした。私は何のためらいもなく「今患者がたて込んでいますから、やはり受診の順番は守っていただきたい」とお断りしました。

(歯科医)



松木 進

## 生産性を高めるとは

私は中部地区に生産性運動が始まった昭和32年から20年間この運動の推進に専念してきましたが生産性運動の理解のされかたがバラバラのように思われる。是非真随を知って欲しい。『生産性とは何よりも精神の状態であり、既存するものの進歩、不断の改善をめざす精神状態である。それは今日は昨日よりも、明日は今日よりもまさるという確信である。それはまた、条件の変化に経済生活を不断に適応させていくことであり、新しい技術と新しい方法を応用せんとする努力であり、人間の進歩に対する信念である』とヨーロッパ生産性機構が発足に当り定義をしている。この定義を繰返し精読して欲しい。人間の主体制の重要性を提唱しているのであります。この精神を具現するため、経営者、労働組合、学識経験者の3者がメンバーとなって生産性本部を発足させました。

具体的に生産性を向上するのは総て人間であります。そこで企業を構成している経営者と従業員、経営側と労働組合の関係を安定させることが大切です。そのためにそれぞれの立場にある方の能力開発が中心課題となります。創造と適応が出来る人

材育成が生産性運動の重要な使命となります。この使命を達成することが労使関係の改善となり、高附加価値の経営を達成することになります。このようにして地域社会の、国全体の生産性を高め国民の生活水準を向上することになります。大変大きな目標を持った生産性運動を広く国民の皆様様に理解していただく仕事であります。

(中部生産性本部事務局長)



野崎 利夫

## 人と職業

自分の職業に心からの喜びをもって打込んでゆける人生を歩く人は幸せであるといわれる。それは、その職業が好きである場合であり、または、その職業が世の中のために大いに役立っているとの信念に生きている場合であろう。しかし、これはあくまで理想を述べているのにとどまり、あらゆる人が自己の職業に真底惚れこんでいるとは限らない。相当数の人々が生活の糧を得るために、余り好きでもない仕事に従事している場合が見られる。

自分の職業は別に嫌いというわけではないのに、上役がどうも虫が好かぬということもあろう。また、気の合った同僚や仲間にくぐまれない

ということもあろう。ただそれだけのことで、他の職業へ転換してゆく人だってかなりあることを私は沢山見てきた。

自分の性分に合わぬ職業の道へ入りこんだ人は不幸といわねばなるまい。自分の好む職業には容易に転じ得ない苦しみだって相当数多いことであろう。そのような環境に置かれた場合、われわれはどんな活路を見出せばよいのであろうか。

諦念ということがいわれるが、苦痛が来る日も来る日もつづく場合、ずいぶんつらい思いをしなければならぬだろう。そこで、1つだけ心にしっかり留めて置かねばならぬことがある。それは、人生はそのひとり一人のためにあるのではない。あなたは種々の因縁によってこの世に生れ、父母兄弟姉妹友人をはじめ限らない世の中の人々のおかげで、この世に日々生かされているとの自覚に気付かねばならぬ。自分の実力で、一人の力で生きているなどとの妄想を抱いているようなら、あなたの一生は決してよい実を結ばず、いくたの苦痛の連続から逃れられぬこと請合である。世の中のために尽す、お返しをするのだとの自覚こそが、あなたの日々を有意義なものとし、充実した日々を迎える良薬となろう。

(中日新聞本社参与)



中村 正夫

## 利益は奉仕から

私達の造る「みそ、しょうゆ」は日本人の毎日の食品であり、調味料でありますので、少しでもよい品を、少しでも安く、そして少しでも多くの人々に使っていただくことを念願とし、「安くてうまい、大津屋のみそ、たまり」を、モットーとしてまいりました。

昭和36年社名を大津屋株式会社から、イチビキ株式会社に改めるに際し、この伝統の上に次の基本方策を定めました。

### ○イチビキ株式会社基本方策

堅実な総合経営のもとに、挙社一体となり、創意と工夫をこらして優秀れんげな製品を供給し、社会福祉の増進に寄与するとともにわが社永遠の発展を期する。

この基本方策はその年式は時期によって、具体的な方針にして示して居ります。

例えば今年の社長方針は

1. 労使一体
2. 品質向上
3. 新製品の開発

の3つに要約されて居ります。

この方針に従って、具体的な手段、方法をつかい、今年目標利益を達成するのが最大の課題であります。

ロータリアンの話の中に

He profits most, who surves the best.

と云う言葉があります。会社の利益がある程度あった場合には、なる程という実感が伴います。しかし、その逆に利益のない場合には、本当にそうだろうか、といった疑念が頭の中をかすめます。

この言葉は何時も同じであります。この言葉が何時も真実であることが実感として感じる事が出来るよう毎日行動しようと念願して居ります。(イチビキ社長)



小川 博史

## 画家としての奉仕の心

いつも年末になると、新聞社や放送局から作品寄贈の依頼が来る。同情週間のチャリティである。例年のことなので、こちらも前から多少はその心づもりはしているものの、言われておいそれと出来ないのが、われわれの仕事である。それに何としても忙しい年末になる。

取りかかっている仕事もあり、来客も多い。3、4日そのままにしておく、また別の社から依頼が来る。どれもこれも断る訳には行かない。チャリティの精神は平等でなければならぬ。覚悟をきめて仕事にかか

ると、また別の社から依頼が届く。かくて11月、12月の大半は奉仕に明け暮れることになる。

しかし如何にチャリティと言っても、奉仕と言っても、絵を描くとすると、やっぱり自分の絵を描きたい。その絵が何処の誰の手に渡るのやらどんな取扱いをされるのやら、そんなことは考えない。絵筆をもった瞬間、そんな雑念は頭の中から消え去って、制作の中に没頭する。年末の同情週間には、洋画、日本画、書、工芸等にわたって数千点の作品が寄贈される。その一点々々、いづれも作家にとって自己を恥かしめる作品ではない筈だ。悉く善意の成果であり、奉仕のあらわれである。即売会場は期せずして無鑑査の自由展覧会であり、チャリティである半面また大衆の審美眼を啓発する場でもある。と口はばったことを言ってみるものの、作家の奉仕は多くお人好しのあらわれである。

例えば展覧会の出品作もその一例だ。金にもならない大作を、幾月もかかって描き上げる。新聞が3、4行の批評を書いてほめるか悪口を言うだけのことだ。だがそれによって、日展も光風展も何々展も成立する。この間の日展名古屋展には会期を通じて15万の入場者を見た。名古屋文化の風土である。作家は何の得るところもないのは、年末のチャリティと同様である。それでも作家はこりずに描く。奉仕が習慣となっている

のかも知れない。

(洋画家)



小川 修次

## 全員参加

およそロータリー活動の中心は4大奉仕活動に集約されると思うが、わけても自分の職業を通じて世の中のために奉仕する職業奉仕こそはその最たるものであると思う。どんな小さな職業でも世の中に不必要なものはないと同時に貴賤、高低はなく自分の仕事を真面目に実施することこそ世の為であり生き甲斐を感じるものである。

私の会社には特別な社是、社訓はないが、また月並な言葉ではあるが「全員参加」をもって社訓としているのである。即ち社内を見渡してもどこにも一人の無駄はない。一人一人が完全に自分の職責を果たすこと全力投球をすることが会社の発展の基本であり、従業員夫々がそのことによって仕事の仕甲斐、生き甲斐を感じるものである。企業は人であると云われる。どんなに立派な機構をもつ組織体でもそれを動かす一人一人の人間が完全でなければ何の価値もないと思う。企業は人であると思われる所以である。殊にも高度成長から低成長、安定成長になった今日、一人でも無駄があってはならない。

「全員参加」こそ会社発展の基本であると信じてやまないのである。  
(日本特殊陶業社長)



大池 秀雄

## 業務を通しての啓蒙

まず、私の反省を含め、ロータリーという職業奉仕の精神が、ロータリークラブの会員のみでなく、経営する企業の中でいかに実行に移されているか、そこで働く人々にいかに理解されているかが問題であると考えます。

御承知のように私共の業界には、公益及び投資家の保護を目的に、数多くの法令、ルール、禁止行為が定められております。単に違反しなければ良いとのみ考えるのではなく、なぜそのルールが定められているのかを充分理解する、又理解せしめることが大切になって参ります。更に申せば、私共の仕事の究極は、投資家の方々との結びつきで考えれば、そのコンサルタントとしての業務を果たすことといえましょう。その達成には、職務に携わる各人の、より豊富な知識にプラス、モラルの向上があつて始めて可能であり、又投資家の方々のニーズに合致したものでなければ、意味の無いものとなってしまいます。

かように考えますと、会社の中で教育、定型的教育も大切ですがそれ以上に日々の業務を通しての啓蒙がいかに大切かを痛感いたします。

単に知識の習得のためでなく、自分の属する企業の社会性などについても充分な理解を得よう努力すべきであり、さらにかような会社風土を育てることこそ、私達企業を営むロータリアンの勤めではないか。私共会社で働く者各々が、自分を磨くこと、又そのために私共が手助けをすることこそ、職業奉仕の第一歩ではないか、と考えております。

(東海証券社長)



大島 清

## 語りかける「お菓子」

「お菓子をとおして世の中の人に楽しみを味わってもらう、その為には、一つ一つのお菓子を自分が愛する人に差し上げる気持で製造し販売しなければならぬ」と言っています。また、お菓子にも命があり、お菓子の語りかける言葉を理解できる人間になってほしいと教えています。

(両口屋是清副社長)



大木 清雄

## 社内報「桜和」

東邦瓦斯(株)はクリーン、エネルギーとしての都市ガスを、導管をもって、安定して供給することを使命とする事業を営むものでありますのでその公共性を認識して社会奉仕に徹することが、最重要課題であります。

当社には、「社是、社訓」はありません。然し、当社は明治39年、名古屋瓦斯(株)として発足した事業を継承して、大正11年6月創立されましたが、その初代社長岡本桜が強調して、身をもって実践された「岡本精神」なるものが、半世紀を越した今日も、連綿として生き続けております。

「岡本精神」とは、「需用家、資本、労働」の三位一体論ともいえるべきもので、「需用家」「株主」「従業員」が、それぞれメリットを頒ち合い、「和」をもって共存するとの考え方で、これが、公共事業の安定供給と地域社会への奉仕につながる柱と考えて居りまして、初代社長没後に創刊された、社内機関紙も、その名に因んで、「桜和」と命名され、40年の永きに亘って今日に至っております。

(東邦瓦斯副社長)



榊 明

## 「和」ありてこそ「創造」

吾が社は、視聴覚機器製造を一途に、50年の道を歩んでまいりました。

吾々の生み出す製品は、内容にいつわりのない、顧客の皆様方に喜んでいただける創造性に富んだ製品開発をモットーに、日夜全従業員が努力しております。良心に恥ない自信のもてる商品の供給、顧客の立場になったサービス、或は海外を含めた公正な市場競争の態度こそロータリー精神にあい通ぶるものがあるかと考えるものであります。

私共は社是として『創造と和』を掲げております。

製品の創造性の重要なことは、企業において主も大切なことは勿論のことですが、一般的な業務に対しましても、創造的な改良、改革に努める様にしておるつもりです。会社を支えている全社員が、お互により信頼感を持ち、相互信頼によるより良き協調、そして一層強い責任感や連帯感を自主的に持ち得る様に、色々な場を通じて、夫々努力をいたしております。

社はより

『物を新しく創り出すことだけが創造では無く、人間的な面までを含んだものが創造である。それは各人

が自分の手と頭で考え、新しく無から有を創り出して行く精神で、本当に人の心の和が無ければ出来るものでない』

こうした努力が社の発展、ひいては少しでも社会に貢献出来たらと考えております。

(エルモ社専務)



紫田 清人

## 職業への使命感

職業奉仕に対する自覚は自己の、職業に対する、使命感認識の度合によるものである。

職業を通じて社会、国家、人類に奉仕する心構えの欠除は現代社会の最も大きな欠陥の一つであり、我々ロータリー会員の努力すべき場の広さと社会的責任の重大性を痛感するものである。個人主義、利己主義に走る現代若者の傾向は教育の偏向と相俟って自己反省を欠き、あらゆる事象が自己を中心にして回転しているかの如くに錯覚する。そして一旦、自己に不利な逆境に立ったとき、そのよって来る所以のものはすべて自己以外の要素、要因によってくるものとの盲信に憑かれ、自己の到らざる点、自己の無力に対する反省、自覚はみじんもないと云うのが現情である。数年まえ、大学紛争華かなり

し頃、若い医療従事者の一団（看護婦、レントゲン技師などの所謂パラメディカルと呼ぶ人々の組合）と大学病院の責任者として、彼等の云う団交なる場に、深夜まで話し合いをもったことが屢々あった。その際、いつも打当る壁は職業に対する使命感の欠除に基く意見、見解の相異であった。生命の尊厳を旨とする医療従事者としての使命感は毛頭ないと極言した若い一人の看護婦の発言にあって、話し合いを断念し、席を立ったことを覚えている。そして指導者として教育努力の不足をしみじみと反省したことを今でも思い出す。

医師として奉仕の第一歩は患者とその家族に対して親切であること、これは病気に対する説明を相手が理解するまで懇切丁寧に話すことより始まる。「もう充分と思っても、もう一言、余分に話をしてあげなさい」と云うのが小生の若い医師に何時も教えることである。それが患者と医師との人間関係を密接にする第一歩であり、職業奉仕の起点となるものである。いわんや我々外科医は生物学的には、最も不自然な手術と云う手段で難病治療にとり組まなければならないので、患者の信頼獲得は何にもまして不可欠の条件である。

(各市大医学部教授)



白石 為行

## みんなが受付係

当社は大同グループ内の中堅商社です。

当社の標語

「われら誇り高きセールスマン」  
「全社セールスマン」

以上の標語に徹する一例ですが、毎年女子社員入社時の挨拶として、「当社の事務所はワンフロアで、入口に近い所に総務課がありますが、特に受付を設けておりません。みんなが受付係です。当社を訪問されたお客様に気付いた女子社員は、総務課員でなくても誰でもが自分の家にお客様が来られた時の積りでいち早く自然の態度で応待するように」と話しております。そしてこれが全社セールスマンにつらなる意味だともつけ加えております。

幸いみんなが当たり前のように、常日頃励行しており、このお客様を大切に小さなエチケットが、来社されたお客様には大変感じが良いとほめられております。また、新入男子社員に対しては、客先と長く取引を続けていくには「双方共プラスになる事」を常に念頭に置き、取引先の立場を十分理解して、誠心誠意お客様を大切に商売するよう教育しております。(大同興業副社長)





鈴木 充

## 惚れてこそその職業奉仕

随分昔の話であるが、中日新聞社にいたころ、編集畑から管理部門に部署がえの辞令を受けとったときのことである。第一線の新聞記者から事務屋に移るわけで、ペンを棄てることに一抹の寂しさを覚えたものであるが、さて新しい職場にきてみると、仕事が段々おもしろくなり、生き甲斐を感じるようになった。

若いときそういう経験がモノをいったのかも知れないが、昭和42年の春、新聞社の現場から離れて、テレビに移ったときは、いささかも寂しいと思う心境にはならなかったし、同じマスコミとはいっても、全然異質の電波業界だけにイロハからやり直さねばならなかった。初心にかえて、新しい仕事に打ち込むうちに、毎日の仕事が楽しくなりだしたのである。

考えてみると、どんな仕事や事業でも、打ち込むうちに、女と同じようにほれてしまうもの。ほれればアバタもエクボで、それなしには、自分は生きていけないような気がしだすし、さらに仕事をとおして、自分もなんらかの社会的貢献をしているのだ、という自覚と誇りが自然にでてくるのではなかろうか。

ロータリアンの職業奉仕も、面倒な理クツをいわずに、私はそう解釈をしているのである。

(東海テレビ社長)



鈴木 俊雄

## もう一步の踏みこみを

結局の所、職業奉仕と言うことは各人が自分の仕事を通じて、社会に貢献することであろうと思われるので、まずは真面目に熱心に仕事に精を出すことに尽きる筈であるが、それだけではロータリアンでなくとも当然やるべきことなので、とり立てて言う程のこともない。

ロータリアンとしては、もう一步踏みこむことが要請されると思う。熱心に取り組んでいる仕事それ自体や自己の職業上の行動が果して社会や国民大衆の利益と幸福にまともに役立っているかどうか、時にはマイナスを及ぼしていることがありはしないか、少くとも、半年に1回は客観的な気持で冷静に、チェックしてみる責務がある。

どうしても仕事をうまく進めることと社会への貢献には若干の食い違いがある。最近、企業乃至企業人の社会的責任が強調されるのもここに原因がある。これには制度が完璧でないためのものもあるが(完璧さを

求めるのも無理、逐次改善が期待される)このギャップを埋めるのは一つに職業人のモラルであり、それに対する社会の評価である。

極言すれば、奉仕をモットーとしているロータリー及びロータリアンがそのモラルを昂揚出来ない様ではロータリー及びロータリアンの資格がないと言える。

ロータリーに於ける「職業奉仕」の真髓は仕事に取り組む一つ一つの行動にそのモラルを生かしてゆくことにあると信ずる。(日本碍子会長)



鈴木敏三郎

## 伴侶としての新聞

中部経済新聞社は

われらは中部経済の発展に寄与し、あわせて、わが国経済の進運を拓く。そのため、拳社一丸となって中部地区と、国内外の経済を基盤とする諸情勢を、迅速・公正・確実に伝えかつ解き明かして、われらが読者に対し頼むべき無二の伴侶となり、信ずべき唯一の指針たらんことを期す。

今から22年前の昭和29年に日本新聞協会加盟社中、唯一の地方経済紙である中部経済新聞社の経営立直

しのため来名し、東奔西走の最中のある日、中経の将来のためと、目前の立直しに右往左往する従業員への指針にもと思って筆をとり社内の壁に貼り出したのが、この社是である。

「読者に対し頼むべき無二の伴侶、信ずべき唯一の指針」となるための新聞ということはスグ解っても、中央地方いづれの経済を主とするか。これは勿論地方第一で、その地方経済を理解する背景としての中央記事が第二であるべきなのに、なかなかその考え方を徹底することは大変だった。昨今は第一面に重要な地種記事が毎朝ドンと目に飛びこんで来て、わが意を得たりと思っている。地種記事といっても、細かい記事まで捨うことが大事で、例へば一般紙では到底取材しないRC, JC, ライオンズC, 会議所告知などの取材こそ読者への伴侶たる条件と思ってご存知の毎月曜ほぼ一頁にわたって各RC例会案内始めの告知を丹念に捨ているのである。

本社と同じ名駅前に名古屋西RCが昭和28年末に発足後しばらくして社内に「R記者」を置き、毎例会に出席取材あるいは卓話者の撰定斡旋を行ない遂には週報の編集を引受けるというところまで行ったことがある。

新聞は一字一行と書く記事がそのまま読者への奉仕であり、自分から見ても職業奉仕ひいて地域社会への奉仕となるワケで、そこに公共機関といわれる特異な使命がある。社是

の始めの数行は、その使命感を喚起するためのマジメなお項目である。その意味で、も一度冒頭の社是を読み返していただければ望外の光栄です。(当時中部経済新聞専務現在監査役)



錫村 満

## 化学工業の内側から

本当のところ奉仕といえるかどうか、この仕事が飯の種なのですから…産業医の日常の仕事は、企業の本来の任務である利潤の追求と、全く相反しているのが通常です。

しかし人それぞれに、多面的な性格が要求されるように、企業も法人として種々の性格が要求される訳です。

金もうけ以外、貯金以外に何も考えないという人は、実際問題としていません。企業だって同じことで、利潤追求とは直接関係のない面にも多額な資金を投入しないことには生残れない時代になっています。

産業医というあまり陽あたりのよくない地位、自分の属する企業の中で、企業の持たねばならぬそんな別個の性格面が、自分の責任になっていることを私は自覚して毎日の仕事に従事しています。

そのほかに、年をとりますと、自分の企業だけでなく、沢山の会社や

個人の方々からいろいろと相談をうけます。(東亜合成化学工業理事)



高田 真吾

## 汗と泥の体験

昭和34年9月の伊勢湾台風の惨状は、今にも生々しく思い出されます。臨海工場地帯のお客様の多くが冠水し、設備機械をはじめ、工具類、特に精度数ミクロン(1ミクロンは0.001ミリ(という高精度の測定が、塩水を含んだ汚水のため、刻々と錆が発生し、全く手のつけられない状況でした。

機械工具業界の一員として、社員は勿論のこと、仕入先のメーカーの協力をえて、大型工作機械は、応急修理をし、小物類で、搬出可能な物は、腰まで水につかりながら搬出し、メーカーに送り、修理させました。

こんな生活が、毎月毎日続きましたが、当時の日々は、全く無我夢中の一語に尽きます。

やがて、修理され、使用可能になった機械が再び据付けられ、工場の再建も進み、「よくやってくれて、ありがとう」とお礼をいわれた時ほど嬉しかった事はありません。

当時は思い、私利私欲もなく、無我夢中で働いた境地は、ロータリーの奉仕の理想の精神ではないかと思

い、これからも大切に持ちつづけたいものだと思っています。

伊勢湾台風に関連した事で、当社の社員を年度別に見ますと、当年入社した社員が、一番成長したと思っています。

社員を入社年度別に見ますと、年度によって、多少出来、不出来がありますが、34年入社の社員は、入社後半でデスクワークを捨て、汗と泥にまみれながら、錆落しをしましたが、その苦労が商品知識の修得を早めました。更に、仕事に対して、全身全霊を打込むことを、身をもって体験しました。そうした体験が、彼等の成長を早めたのだと思っています。(井高社長)



高木 一郎

## 歯科医のフィロソフィ

世間の不信を受けている医療、とりわけ歯科医療がきびしく批判されているいま、歯科医であるわたくしにとってこの寄稿は勇気のいることである。

患者さんの側と歯科医の側の信頼関係がおかしくなってきたことは、10年ほど前アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア等ではじまり、それがやっと日本にも上陸してきた、というのが実情のようである。

歯科で「予約制」とか「約束制」が普及してきた。

アメリカで50年以上の歴史のある極めて高い内容の「アポイントメント・システム」も、アメリカの歯科医が全部やっているわけではない。

「アポイントメント・システム」を訳して単に予約制とか約束制としたことが、日本の歯科医療の混乱の条件のひとつになるかもしれぬ。

歯科医というものは、臨床の勉強を重ね、努力し、経験し、人生のキャリアをつみ、おのれのフィロソフィ(歯科医はこのコトバが好きのようだ)がしっかりできた時に、その人の内面的要求から、自然とアポイントメント・システムによる開業医とならざるを得ないものなのである。

おしつけやひとまねで、そうなることがらでは断じてない。

つまり、ある資格がいるものである。

読者にこのことはわかり難いかもしれぬ。

高木歯科医院は保険医療機関でなくアポイントメント・システムにより運営されている。

私自身、前記したようなある資格があるという不遜な考えはないが、ある資格に近づく努力をいまもしている、自分では思っている。マスを考えないで個を考える。

わたくしを信頼して下さる患者さんにわたくしのベストをつくした。い。(高木歯科院長)



高村 三郎

## 労使の和

いかにすぐれた製品を出しても、堅実な資本背景があったとしても、ひとたび労使間に紛争が生じ、混乱が起きれば、その企業の機能は停止してしまいます。

わずか数10名の従業員を抱えた企業に労使紛争が生じたため、その経営者は、一切の経営活動が妨げられ、紛争解決にのみ終始している事実をみて、いかに労使関係の安定がのぞましいか、ということが痛感されます。これでは、企業崩壊の一途をたどることとなってしまいます。

当社労組は、結成以来20数年の活動の歴史をもっています。当時、労組対策はいかにあるべきか、を検討した結果、これからの企業は、正常な組合活動を助長し、それを基盤としての結論を得て、労組対策をたて、あくまでも組合の労働三権を尊重しそのうえで企業経営権の確認を求めるといふ基本方針を打ち出しました。

労使関係は、力関係といいますが、その反面相互の協力依存関係であるといえましょう。このため、結成と同時に労使協議制をとりいれて、常設の「生産性協議会（本年3月労働協約の改定により、労使懇談会に改

称)をつくり—

1. 経営方針
2. 労務管理、組織変更
3. 生産計画および生産技術
4. 経理、営業、資材の概況など

の説明をおこない、労組側の意見を聴取し、卒直に耳を傾け、信頼と協力のもとに企業の運営をはかることとしました。

こうした緊密な相互コミュニケーションの努力が、組合の自主管理意識を生み、いまなお、恒久的平和を目標として進んでいます。

現在、当社は関連企業会社をふくめ、2000名の従業員が運輸をはじめ工業や機械工事などの分野で業務についていますが、労使の平和関係が維持される限り、安定した経営をはかって行けると思います。

(丸太運輸社長)



高木健太郎

## 迷惑をかけぬこと

先日あるロータリアンからこんな話を聞いた。「毎日地下鉄で通っているが、朝、ホームにちらかっている煙草の吸い殻を拾っている。その内に私もお手伝いしましょうという人が出て来ましてね」という話。もう一つは道路に紙屑が散らかっている。市はもう少し清掃に力を入れて

は、といったところ、「まず君がやることだよ。それがロータリアンではないか」といわれて赤面しましたという話。

誠にロータリアンらしい話である。私自身こんなに積極的な行動をとったことはない。少くとも道路上に吸い殻を捨てないよう、弁当の空箱は必ず定められた個所に捨てに行く。その時同席の人があれば、一緒に持って行く程度で、まあ他人にご迷惑をかけないようにと常々気を配っているくらいである。

先日新幹線のグリーン車で数人が酒を飲みはじめ、そのうちのひとりが、煙草の灰を床にポンポンと落す。一本だけではない。何本もの灰に床の絨壇が一面灰だらけになる。その内に火のついた吸いかげの煙草を床に捨ててしまった。気になるやら、腹が立つやら。見まいと思ってもどうしても眼に入る。

私は立って注意をしようと思ったが、酒気を帯び、群をなした日本人は何をし出かすかわからない。ひとりでは本当にいゝ日本人だが、まあ何と残念である。よきことをするには勇気が必要だとつくづく思った。私に出来たことは投げすてられた火のついた煙草を黙って足でもみ消したことだけだった。それも相手が気がつかないように。

先年ドイツの喫煙禁止車で知らずに私が煙草を喫っていた。子供が妙な顔をして、傍の大人に話したと思

うと、その人が、こゝは禁止車だと注意札を指さしてくれた。私は早速、もみ消した。

悪徳のあとかたづけも結構だが、悪徳をその場で注意したら、とくにロータリアンがやったら、日本ではどんな結果が出るだろう。

(名古屋市大学長)



富田 民三

## 入社式の挨拶

会社は、皆さんの優秀な働きによって社運の隆盛を願っております。プロとしての実力を早く身につけて此の願いを達成させて戴きたい。

今日の世相は情報の氾濫時代とも言えます然もその情報の中より自分に都合のよいものだけを取上げる傾向が強うございます。そのため実際と噛み合わないことが多く、果ては不平不満の徒となり、社会を呪い、人を怨んでお互いが不幸になって行くケースが多うございます。

これは誠に勿体ないことであります、先輩の責任として私の考えを申上げたいと存じます。

私は道に迷った場合には、雑念に惑わされず、原点に戻って静かに想を練り再出発をすることにしております。

人生とはどうあるべきかにつきま

しても、出発点である、原始時代に  
戻ると比較的簡単に明瞭になってま  
います。色に三原色として赤青黄  
があるように生活の三原点は衣食住  
です。原始時代は衣食住等すべて自  
給自足です。空腹か、ぼろを着るか、  
あばら家に住むか、或はその反対か、  
これすべて自分のなせる業で、人を  
怨む理由はありません。

貧富の差から恵みが生まれ、弱肉  
強食のむごたらしさから宗教が生ま  
れ、団体生活から道徳や法律が生ま  
れましたが何れも善意の人を救う道で  
あって、怠け者や、横着者を救う道  
ではありません。

これは、資本主義であるからでは  
なく、社会主義や共産主義なれば猶  
一層、きびしく指弾される筈です。

皆さんの求める幸せはデパートに  
も売っていないし薬屋へ行っても特  
効薬はありません。政治家も宗教家  
も何ともして呉れません。ただ皆さ  
んの額の汗と手の豆が生み出して売  
れるものだと信じております。

人生の難関は大変な力が無ければ  
突破出来ません。まづ自分の力をつ  
けることです。次ぎに余力を人に貸  
して事ある時にはその助けが得られ  
るようにすることです。

つまらぬ事で人と争って、反対側  
へ追いやってはいけませんし、また、  
妥協を事として、真実から遠ざかる  
と信を失います。

将棋は一手の前後で勝ちを失いま  
す人生の出所進退も、緩急の度合い

を計るのが大切です。

(中部水産社長)



鶴田福一郎

## 「石」を通じての奉仕

オイルショックに端を発した長期  
不況は最近時において一部企業にお  
いてはムード的にやや明るさが見え  
はじめたとはいうものの実勢はなお  
厳しくまだまだ不況長期化の様相を  
呈しており、各企業とも人員整理、  
新規採用手控え等により四苦八苦の  
企業努力を続けており学卒者にとっ  
てはかつてない就職難の時期を迎え  
たのでありますが、それにしても今  
年もまた、この春、学校を巣立った  
若人達が社会人として希望をもって  
それぞれの職場に就いたことと思ひ  
ます。職業といっても千差万別お役  
人学校の先生、会社員……。物を作  
る人、それを運ぶ人、売る人、修理  
する人等、全く多種多様に互ってお  
ります。人それぞれの職を通じて社  
会に奉仕しているわけではありますが  
私事で誠に恐縮ですが若いときから  
現在までの50有余年の間ただひたす  
らに「石」と共に生き、「石」を通じて  
微力ではありますが社会に奉仕させ  
ていただいております。私はじめ従  
業員一同が一致協力して生産した  
「石」がこれをもって高速道路となり

港湾が建設され、鉄道が敷かれて新  
幹線が走る姿をみますと私が選んだ  
この職がいや天職がこのようにして  
社会に奉仕されていることを思いま  
すと自負心さえ覚ゆるものでありま  
す。企業である以上利潤の追究は論  
をまたないことではありますが、反面  
職を通じてただひたすらに社会に奉  
仕さえすれば自然とその恵みが返さ  
れてくるものであると私は信じてお  
るのであります。去る昭和45年春の  
叙勲に際し「永年砕石業に携わると  
ともに関係団体の要職にあつて業界  
の指導育成に努め、よく斯業の発展  
に寄与した、まことに公衆の利益を  
興し……」として監綬褒章授章の栄  
に浴し、はたまた昨年秋の叙勲に際  
し勲四等旭日小綬章を賜り重ね重ね  
の榮譽に只々感激の至りと存じてお  
ります。

(鶴田石材社長)



恒川 義郎

## 喜んでいただける建設

数年前、国の福祉政策が大へん強  
く、問われる様になった頃の事です。  
ある方の紹介で宗教法人の保育園施  
設建設の相談がありました。その時  
まで保育園と幼稚園の相違について、  
知らなかった私は、園長の説明によ  
ってその不思議な姿におどろいたわ

けです。

保育に欠ける幼児が厚生省の管轄  
の保育園へ、一般の幼児は文部省管  
轄の幼稚園に通園する事になるのだ  
です。生まれながらにして区別される  
幼児達を思う時、なんとか一体化出  
来ないものかと考えたものです。産  
休明の乳児の保育から始まり、幼児  
保育に致る迄、なかには長時間の保  
育を必要とする子供もいます。幼な  
くして親の手を離れて、団体の保育  
の中に入園してくる子供達は将来の  
日本をになうにふさわしい、待遇を  
受けているのかと疑問に接する事が  
数多くありました。

昭和26年に出来た園舎は老朽化し  
雨もいたる所で漏る状態でしたが、  
国、県、市の資金を借りて、園舎を建  
て直す事が、計画してから約1年半  
がかりで完成しました。

新しい施設は関係の方々はもとよ  
り、どの子供からもそして親達から  
も大へんに喜ばれました。その後  
この園は地域の方々の要望を入れて、  
乳児を、主体とした方針で進められ、  
この園には毎日の様に乳児達の親が、  
入園の申込に来ますが、定員をオー  
バーして入園出来ず、今年再度宗教  
法人を社会福祉法人に、切替えて、増  
築される決心をされその計画が進ん  
でいます。この地域のニードにこた  
え、私費を投打って、計画される、  
園長の姿は、幼い子供達を愛し、国  
を愛するが故の処置であろうと、た  
ゞたゞ頭の下る次第です。

幼児とその親達、そして関係する保育さん達の明るい喜びに満ちた顔を思い浮べる時、1回も早く立派な施設が完成する事を願っています。私たちも従業員共々一致協力して関係される皆様から喜んでいただける住みよい、明るい施設を数多く建設し、福祉政策に少しでも貢献して行く事を願っている次第です。

(共栄建設(株)専務)



渡辺 福雄

## 歓 び

3月9日お昼どき外出から帰ると女子社員が先刻五色園ハイランドの荒木様がみえまして社長によるしくとのことでありました。

このお菓子は荒木様から頂いたものと報告した。私はこのお菓子を見て喜びがこみあげてきた。

昨年の暮、こがらしの吹く11月24日の夜半のことである。私どもが建設中の団地五色園ハイランドの当社の建築現場から出火して、その建物を全焼した。更にお隣の荒木邸に飛火してこれを半焼した。消火には社員は勿論、消防隊、町内会の皆様が全力を尽して協力されたのだが、かような不幸な結果となった。

荒木様方は建物は半焼の上、家財は水びたしとなりお家族は寒空の中

を緊急移転して貰った。この荒木様に対する補償はどうあるべきか、翌朝から社内で協議しつつ荒木様と折衝を初めた。法的な問題としてではなく、建設業者として徳義上、信用上の問題であるだけに苦しい。折衝は二転三転したが誠意を尽してご了解を得た。早速改修工事に着工した。それから3ヶ月、改修工事が完了して荒木様は自宅に入居された。そこでおかげ様でのご挨拶に来社されたのである。物心両面にこれ程大きなご迷惑をかけたお相手方から、かようなお言葉を頂いた私の喜びは筆舌に尽せない。私はこの喜びを全社員に伝えた。

当社の日建信条の1つに「感謝奉仕の心をもって地域社会の発展に寄与しよう」とある。私達はこの信条をかみしめた。

(日建住宅社長)



渡辺 鈴雄

## 事業に生かすR精神

私は機械刃物の製造の会社とそれに関連する販売の会社を営んでおります。

刃物作りの仕事は古く昭和の初め先代から家業を継ぎ戦後株式会社組織とし、昭和53年には創立30周年となります。50年を刃物作りで暮して

まいった次第であります。

刃物というものは日本刀と同じで作る者の魂がこめられていなければなりません。又扱い方により、良くも悪くもなるものです。現在では時代の要請により総て機械に取りつけて使用する所謂機械刃物を手掛けておりますが、刃物作りの基本は昔と少しも違っておりません。製法が近代化すればする程刃物作りの基本精神を忘れない様にと会社の連中を戒めております。

又折角精神こめて作った刃物も使用の仕方、研磨の仕方次第で切削する製品の良否に大きく左右されます。昔の様に手作りの時代は扱う人がこのことを充分承知しており、昔の大工さんは仕事の半分は刃物研ぎであった訳です。ところが最近は何を作るのも大量で大型の機械であり、刃物の研磨も当然機械でされますが、これについても機械の扱いに魂が入っていない為切れる刃物もいつの間にか切れなくして使っているため切削製品も良いものが出来ない例が多くあります。こんなことから当社では刃物の基礎知識と研磨の実習を無料でサービスし工場の一隅に実習工場を作って全国のユーザーから常時10名内外が会社の寮に泊り込んで実習を受けて頂いております。先年は台湾からも40数名技術者に来て頂き通訳付で研修会を開き喜んでいただきました。又マレーシアでは当社の技術者及大学の先生を派遣して現地研

修会を開き大変好評を得、土地の新聞記事にもなりました。

ロータリー精神の「奉仕」を事業にも生かして今後共やってゆきたいと考えております。

(兼房刃物工業社長)



山田市三郎

## 職業奉仕提要

中京相互銀行の行是は、誠実、和敬、進取であります。行訓は、(1)、地域社会に奉仕する喜びと誇りをもつて、その繁栄に寄与しよう。以下4条でありますが省略します。

相互銀行法第1条に、「国民大衆のために金融の円滑をはかり、貯蓄の増強に資する」とあります。わが国の中小企業数は、全企業数の97%を超え、その従業員数は、90%を占めるのでありまして、わが国経済界の盛衰は一つにかかって、中小企業者の状況如何にあります。国の内外、洋の東西をとわず、古来政府が中小企業の振興に重点をおいているのは当然であります。

ロータリアンの大多数は中小企業者であります。ポール・ア・ハリスが、71年前、シカゴでロータリーをつくった状況をつぶさに研究すればよくわかります。1976年3月、「R・I東半球部クラブへの奉仕」の抽

冬忠氏より、新クラブへよせられた手紙の一部を、抜萃します。「ロータリーは職業奉仕のクラブであります。会員の職業分類の原則は、各ロータリークラブの職業奉仕部門の骨子となるものであります。職業奉仕において、ロータリアンは奉仕（サービス）といふ言葉を最も広義に用いており、単に実業あるいは、専門職業の取引きによってなされた業務、または売られた商品を意味するのみでなく、相手の必要や環境に応じて正当な考慮を払うと共に、常に他人に対し思いやりの心を似て当ることをも、含めているのであります」とあります。

職業奉仕は、自分の職業を通じて社会に奉仕することで、各個人が直接その職場でおこなうべきものであります。余り職業奉仕の概念にとらえられて、茶畑に迷いこまないようにして下さい。(360地区1975-76ガバナリー、中京相互銀行頭取)



横井 良一

## 建築家としての職業奉仕

私の職業分類は建築家(Architect)であり、私は又建築の設計を専業とする会員によって組織された社団法人日本建築家協会にも所属している。この協会は任意加入団体で国家

試験によるライセンスを持った1級建築士の数万人というオーダーに比べると会員数1200人余の小さな組織であるがU・I・A (Union International of Architecture)から承認されている国内唯一の建築設計を行う職能団体である。

この協会に「建築家憲章」なるものがあるが、それはロータリーの職業奉仕の精神と重なりあうところが大変多いように思うので、その一部を紹介させて頂く。日本建築家協会はA・I・A (Architectural Institution of America)の組織を範として創られたいきさつがあり、又ロータリーの創始者ポール・ハリスは建築家と同じプロフェッショナルな職業、弁護士であったということで、この二つの精神的基盤は奇しくも同一のもののように私には思われる。

以下に、その協会憲章を抜粋してみよう。

### 日本建築家協会憲章 (抜粋)

#### ◇建築家

建築主の信頼に応え得る十分な資質、才能、経験、人格と責任の裏付けによる自由を保持して、委嘱された建築の設計、工事監理を行い、その責任を果すにふさわしい報酬を建築主からうけ、建築主並びに施工業者の正当な利益をまもるために公平に行動し、同時に他の同業建築家に対しては業務上の道義的責任をもたねばならない。

#### ◇建築家相互の責任

建築家相互の利益を増進するためにあらゆる協力をなし、協会組織の中では自己の役割を十分に果たすようにしなければならない。

即ち、他の建築家の名声を傷つてはならない。

報酬によって競争をしてはならない。

設計の剽窃をしてはならない。

他の建築家に委嘱された業務については、その委嘱関係が明かに終了しているとわからないうちは、これを引きうけてはならない。

建築設計競技規準に準拠しない設計競技に参加してはならない。

#### ◇協同者に対する職責

職業上の義務責任を理解し、制作意欲を向上せしめるようにしなければならない。

常に友情をもって遇し、知識、経験をもって指導しなければならない。

#### ◇社会に対する職責

公共の問題に関して社会の福祉を増進させるために自ら進んで協力しなければならない。

人を惑わすような誇張した手段で自己宣伝的な行為をしてはならない。

この憲章の協会における位置づけは弁護士会の倫理規定(昭和30.3制定)と同じものと考えられているが先述のように日本建築家協会員は桁違いに多いアウトサイダーに囲まれ欧米先進国の建築家と比べ大変なハンディキャップを背負わされ日夜建築家としての職責を全うすべく奮斗

している次第である。

(日建設計名古屋駐在理事)



山口 賢一

## 読者のニーズ

名古屋タイムズ社は、戦後まだ名古屋が「焦土の町」だった昭和21年5月に誕生してから、ことしで創刊30周年を迎えます。郷土で唯一の夕刊専門紙としてとにかく30年、今日あるのも各位のご支援の賜ものと感謝している次第です。

私は昨年6月、中日新聞編集局長から移って以来、まだ日が浅いのですが、激しい新聞業界の競争の中にあって、この歴史と伝統だけは汚さぬようにと頑張っています。

名古屋タイムズは、この30年間に幾多の消長を経験したのですが、あいにく高度成長とは無縁の存在でした。卒直にいつ時代や地域、さらには読者のニーズの変化にあまり目を向けず、紙面をつくっていたのが原因だったと思います。

そこで私たちは、当面まずわれわれの読者対象を名古屋市および近郊に住むヤングから中年までのサラリーマンとハッキリ規定しました。朝は電車やマイカーで職場に向い、そこでは厳しい状況の中で、業債向上に奮闘する平凡なサラリーマンです。

上役、下役との人間関係にも悩んだり、家庭に戻れば、物価高や公害に怒りを覚えたり、教育や健康の問題に疑問を持ったり、その間、レジャーや教養にも欲求を持ったりする仲間たちです。こうした人たちの喜びや悲しみや怒りを吸い上げて、共感を持ってもらいながら、お役に立つことのできる新聞、こんな新聞をつくろうと決めたわけです。

夕刊ですので、肩のこらぬ、楽し

い、読めば必ずトクをする新聞でもありたい、と欲ばりです。

こうして、私たちは努力しているのですが出来ばえについてはまだまだ「道は遠し」です。

新聞の仕事は、読者が一人増す毎にそれだけ社会に尽しているのだとの信念に生きることにあると思っています。

(名古屋タイムズ社長)

## 職業奉仕 四つの反省

### 1 顧客に対して：

最上の品質、最高のサービスを提供しているか  
常に正直と親切を旨としているか

### 2 従業員に対して：

彼等の長所を十分に認めかつ買っているか  
安全で快適な職場を確保しているか  
苦情に対して公正な態度で対処しているか  
自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか

### 3 競争者に対して：

公正な態度で接しているか  
あなたは、行動をもって誠実を感銘させているか  
彼等とともに事業水準の高揚につとめているか

### 4 協力者に対して：

公平でしかも友情にみちた関係を保っているか  
いつも支払をよくしているか

P. G. 前原勝樹(桐生)翻訳

The Rotarian 1972年9月号の Inside Rotary より  
岐阜南 R. C 職業奉仕委員会創案

## 編集後記 (昭和51)1976.6.25(金)

職業奉仕委員長として、年度末の幸運に接した。福田克美会長・富田民三副会長・服部栄三幹事始めのご協力で、1975-76下半期予算から28万円をこの企画に充てようという理事会の決定をみたのがそれである。時期切迫の中で、会員に檄を放って出稿を願った。どうなることかという不安は「社是社則でも結構ですから」という当方の主旨がかわって、山田市三郎DGを先頭に59名の方々の原稿の一束を手にすることができた。マスコミの先輩野崎利夫会員が「原稿を見てやろう」と持ち帰って1週間後、編者の手にはいった原稿は、長苗印刷のスピード制作にオンラインすることとなった。

来年20周年を迎える当Cとして、職業奉仕関係では、初めての出版企画であり、それだけに数々の矛盾や不備の点があると思いますので、切に、大方のご批判を乞う次第です。

追伸、この出版には山田市三郎DGが率先して応援されたことは述べたが、ある日、編者が安野譲次PGに、この本の表題についてご意見をうかがったとき、安野さんは舟橋委員長原案を手にしなから「われわれの、小さな体験」はどうですと言われ、それがそのまま本書の題名となった。記してご厚意を謝しあげます。

職業奉仕委員長 舟橋 正輝

(編者)鈴木敏三郎会報委員長

MEMO



## 関連資料

①職業奉仕四つの反省（懸額用岐阜南RC創案）1972年9月ロータリアン誌から前原勝樹DG（桐生）が翻訳したもの（既に当C内配布済）（註1）44頁参照

②RI文献東京事務所関係（註2）

- 34 — J 奉仕こそわがつとめ
- 502 — J 四つのテスト適用
- 515 — J 実業家に対する学生の態度
- 520 — J 職業奉仕に活力を与える
- 521 — J 輪番の日（Rotation Day）職場訪問
- 6415— J 四つのテストポケット型
- 6417— J " 額用
- 6418— J " デスクプラーク

（註2）「J」とあるのは日本語版で、〒100 東京都千代田区丸の内3-4-2 日石ビル内RI文献東京事務所に発注すれば、その他の文献も入手できる。当C事務局に注文用紙がある。

---

〒460 名古屋市中区栄1-12-12  
東洋ビル内 (052) 321-8101  
名古屋南ロータリークラブ

---